

EARTH MAN

アースマンシリーズ

12段变速 卓上ボール盤 DP-700B



お客様へ

- 本製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならないでください。
- 本製品は2梱包で1台です。

取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

目次

お使いになる前に 1

安全にお使いいただくために
電動工具を安全にお使いいただくために
本製品を安全にお使いいただくために

本製品について 8

用途
各部の名称・セット内容
製品明細
仕様
穴あけ能力

使用前の準備 11

組み立て方法

使い方 18

作業上の注意
使用方法

お手入れ 20

お手入れと保管

お買い上げの後に 23

保証書

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取り扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』・『注意』・『注』の3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。また、本製品は家庭用として開発されています。家庭用としてお使いください。
- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容
 注	本製品や付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項

電動工具を安全にお使いいただくために

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

警告

1. 作業場所はいつもきれいに保ってください。
 - 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。
また、作業の妨げになる物は取り除いてください。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 作業場は十分明るくしてください。
 - ガソリン・シンナー・塗料・接着剤など引火性の液体や可燃性の物、ガスのある場所では使用しないでください。(爆発・火災の原因)
 - 濡れた所や湿気の多い所・雨中では使用しないでください。(感電・故障の原因)
3. 作業員以外を近づけないでください。
 - 特にお子様は作業場や本製品に近づけないでください。
4. 作業に適した服装で作業してください。
 - 作業をするときは保護メガネを着用してください。
 - 作業に適した服装(すそじまりの良い長袖・長ズボン)で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。

- 軍手など巻き込まれる恐れのある素材の手袋は着用しないでください。
- 長い髪は帽子などで覆ってください。
- 粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。
- 作業音の大きい場合は、耳栓・耳覆い(イヤマフ)など防音保護具を着用してください。

5. 損傷した部品がないか確認してください。

- 商品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆりみ・ひび割れなど本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 作業前には必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音などがいないことを確認してから作業してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

6. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。

また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。(部品脱落や故障によるケガの原因)

7. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、調整・取り付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。

8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小型の電動工具やアタッチメントは大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

9. 無理な使用をしないでください。

- 安全に能率良く作業するため、電動工具の能力に合わせて作業してください。
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。

10. 感電に注意してください。

- 濡れた手での取り扱いや電源プラグの抜き差しはしないでください。(感電の原因)
- 本製品の使用中に、身体をアース(接地)されている物(エアコンの室外機や金属製の支柱など)に接触させないでください。(感電の原因)

11. 通気孔をふさがないでください。

- 本製品の通気孔は本体を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。(火災・故障の原因)

お使いになる前に(続き)

12. 使用電源は必ず家庭用 AC100V電源を使用してください。

- 200V用電源に接続して使用しないでください。(火災・故障の原因)
- 発電機やインバータ電源・DC電源・仮設電源での使用はしないでください。(火災・故障の原因)

13. コードなどの取り扱いに注意してください。

- 使用する前に、必ず電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを高熱の物・油や角のところがった所に近づけないでください。(火災・感電・故障の原因)
- コンセントから電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。(火災・故障の原因)
- 作業者以外は本製品やコードに触れさせないでください。
- 感電防止のため、漏電遮断器の設置をお勧めします。

14. 不意な始動はさけてください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- 本製品を移動する場合や付属品を交換するときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 使用しない場合・作動すると危険な場合・停電のときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

15. 加工物はしっかりと固定してください。

- 加工物はバイスやクランプ・万力などで固定してください。

16. 本体作動部には触れないでください。

- 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。(ケガの原因)

17. 作動している状態のまま放置しないでください。

18. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。

- 高所作業のときにコードを引っ掛けたりした場合、事故・ケガの原因となります。

19. 油断せず、十分注意して使用してください。

- 本製品を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況などに十分注意して慎重に使用してください。
- 疲れていたり、体調のすぐれないときは使用しないでください。
- 長時間の連続作業は疲労による事故の原因となります。

20.ヤケドに注意してください。

- 使用直後は、本体(モーター)や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

21.定期的に点検してください。

- 電源プラグ・通気孔にほこりや粉じんなどが付着している場合には、よく取り除いてください。(火災・故障の原因)

22. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。

23. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

24.ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時はただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にお申しつけください。
または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やケガの原因となります。

この取扱説明書は大切に保管してください。
また、本製品を貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。

注意

1. 延長コードを使用する場合

- 延長コードが必要な場合は、定格電流が15A以上の物を使用してください。(最大20mまで)
- ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱による電圧降下や火災事故を防止するため、コードは全て引き出して使用してください。
- 使用する延長コードの取扱説明書・注意事項などをよく読み正しく使用してください。

2. 本製品は短時間の使用を前提に設計されています。

- 長時間の連続使用はしないでください。(故障・破損の原因)

3. 騒音に注意してください。

- 法令および各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないように状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

4. 作業後の加工物に注意してください。

- 作業直後の加工物は熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(ヤケドの原因)
- 作業後の加工物には、かえりができていることがありますので注意してください。(ケガの原因)

5. こまめにお手入れしてください。

- 安全に能率よく作業するために刃物類は常にお手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理をお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。(故障・破損の原因)

6. その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光のあたる場所・高温になる場所には、放置・保管しないでください。変形・変色・劣化の恐れがあります。

本製品を安全にお使いいただくために

⚠ 警告

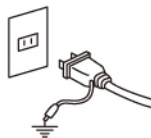
1. 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
2. 使用する先端工具の使用方法・注意事項をよく読み、その指示を守って安全に作業してください。
3. チャックハンドルなどの工具類は運転前に必ず本体から取り外してください。
4. 加工する対象物の中に異物(釘や鉄筋など)がないことを十分に確認してください。
 - 加工中、異物に先端工具が触れると刃こぼれだけでなく、強い反発力が生じケガの原因となります。
5. 使用中は、加工物を確実に保持してください。
 - 穴あけ開始・終了直前に強い反発力が生じます。確実に保持していないと、ケガの原因となります。
6. あまりにも小さな物の穴あけは危険ですのでしないでください。また、加工する物はクランプ・バイスなどでしっかり固定してください。
 - 不安定なまま作業するとケガの原因となります。
7. 回転中・作業直後の先端工具や切りクズは危険です。絶対にさわったり、顔を近づけたりしないでください。(ケガの原因)
 - スイッチを切ったあとも、先端工具はある程度慣性で回転し続けます。先端工具が完全に停止するまで手を触れないでください。(ケガの原因)
8. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
9. 故障・異常時はただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客さま相談窓口」に相談してください。

お使いになる前に

アース(接地)について

⚠ 警告

- 必ずアース(接地)を行ったうえで使用してください。故障や漏電のときの感電防止のために必要です。
- アース線をガス管に接続しないでください。(火災・爆発の原因)
- 電源は必ずアース端子のついている物を使用してください。アース端子のない場合や、アースの埋め込みなどは専門の電気工事店に相談してください。



お使いになる前に(続き)

注 意

1. 本製品は工場作業など精度が必要な作業には使用しないでください。
2. 先端工具は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
3. 加工物に合った先端工具を使用してください。
 - 加工物に合った先端工具を使用しないと、ドリル刃をいためる原因となります。
4. チャックの開閉は、必ず専用のチャックハンドルで行ってください。専用以外の工具でチャックを開閉すると破損の原因となります。
5. ドリル刃を加工物に当てたまま作動しないでください。必ず正規の回転数になってから作業をはじめてください。
6. モーターの回転中に、ブリーケースをあけないでください。
 - ブリーやVベルトに指や手が巻き込まれると大変危険です。
7. 回転部に切りクズやゴミなどが入らないように注意してください。
8. 常温(0~40℃)で使用してください。
9. 本製品は、ホールソーやしいたけビットなど特殊な先端工具には適しません。

注

1. モーターの始動と停止時にモーターの通気孔から火花が見えることがありますが、故障ではありません。
2. 穴あけについて
 - 能力以上の無理な力で押しつけても穴は早くあきません。ドリル刃の破損やモーターなどの故障の原因となります。
 - 本製品はVベルトの設定でモーター回転数の調整を行います。調整が不十分でモーターの回転が著しく低下する状態での作業を続けるとモーター故障などの原因となります。
 - 金属などに穴をあける場合は、切削油などを使用してください。また、ドリル刃が滑らないよう、あらかじめセンターポンチなどで穴あけ位置にくぼみをつけてください。

本製品について

用 途

◆木材・プラスチック・軟鉄板などの穴あけに

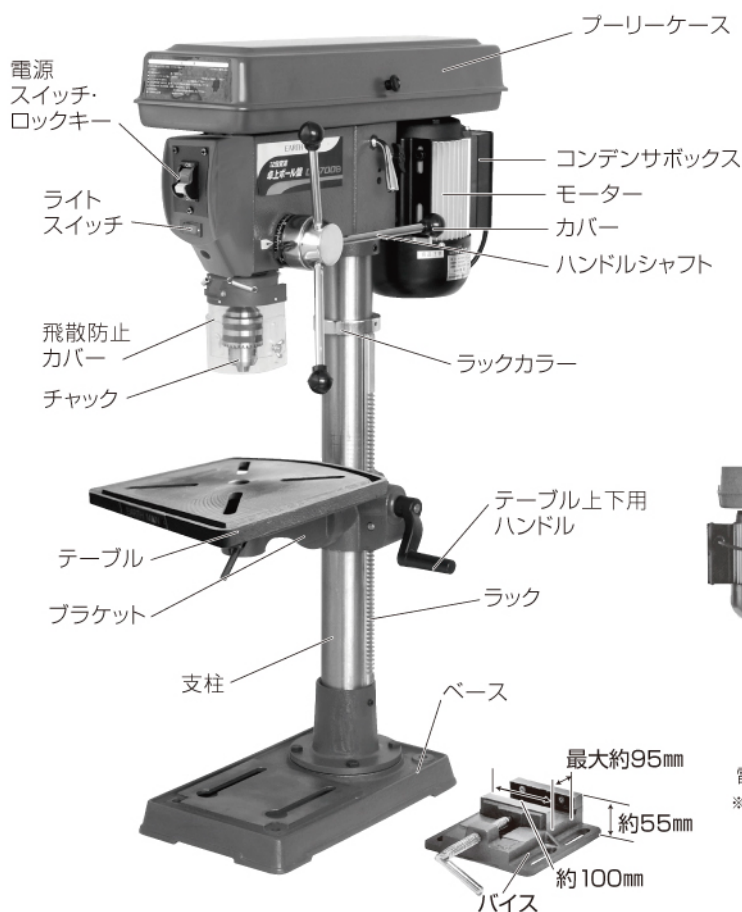
各部の名称・セット内容

要確認

初めて梱包を開封したときは、下記の内容について確認してください。

- 付属品が全て揃っているか
- 破損した箇所はないか

万一、不具合な点がありましたら、お買い上げの販売店または(株)高儀までご連絡ください。

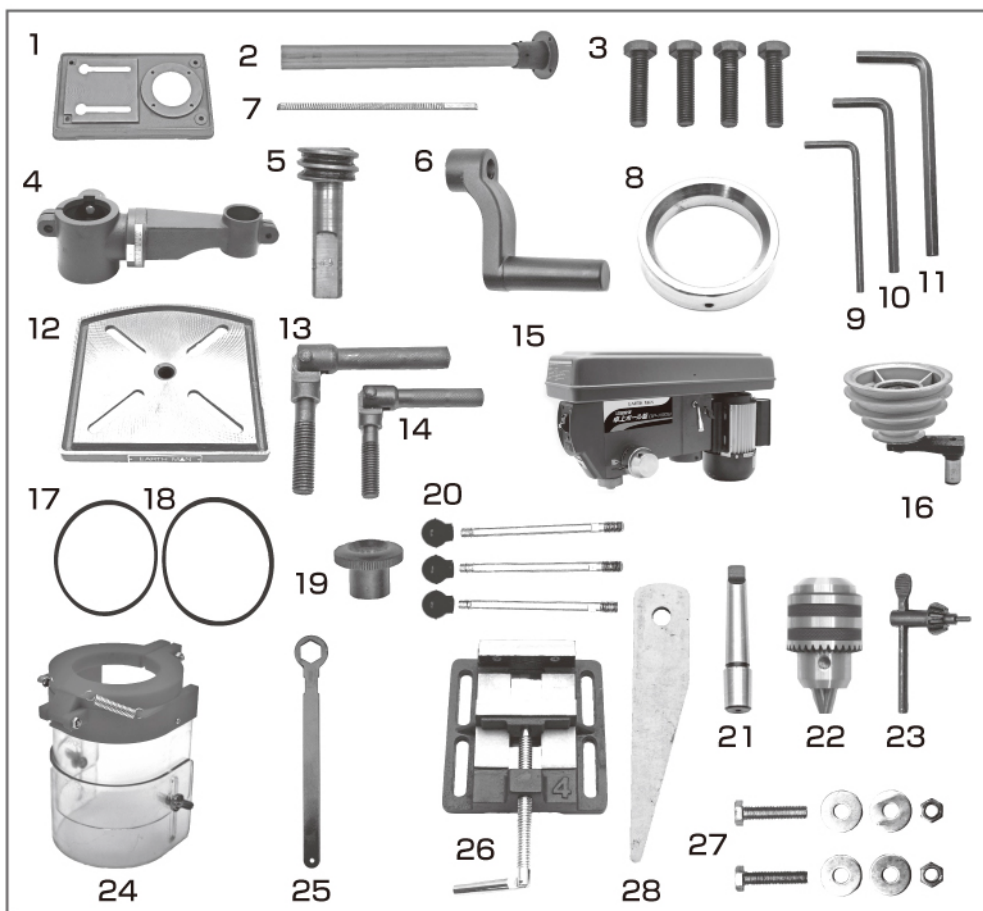


電球用ソケット(E26口金)

※電球は付属されていません。
市販の白熱球60W以下の
ものをお買い求めください

本製品について(続き)

製品明細



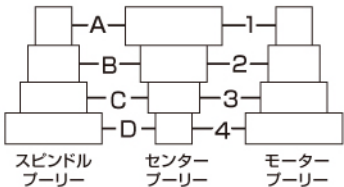
- | | | |
|----------------|------------------|-----------------------|
| 1. ベース | 11. 六角棒レンチ 5mm | 21. アーバー |
| 2. 支柱 | 12. テーブル | 22. チャック(JT3) |
| 3. 支柱固定ボルト | 13. クランクボルト(大) | 23. チャックハンドル |
| 4. ブラケット | 14. クランクボルト(小) | 24. 飛散防止カバー |
| 5. ギアシャフト | 15. モーター・プーリーケース | 25. テーブル調節レンチ |
| 6. テーブル上下用ハンドル | 16. センタープーリー | 26. バイス |
| 7. ラック | 17. Vベルト(小) | 27. バイス用ボルト・ワッシャー・ナット |
| 8. ラックカラー | 18. Vベルト(大) | 28. ウェッジ |
| 9. 六角棒レンチ 3mm | 19. プーリーケースのツマミ | |
| 10. 六角棒レンチ 4mm | 20. ハンドルシャフト・カバー | |

※六角棒レンチは組立時にサイズに合った物を使用してください。
 ※出荷時に組み立てられている部品もあります。

※本製品に電球は同梱されていません。

仕 様

電 圧	AC100V
周 波 数	50/60Hz
電 流	5.7/5.6A
定 格 消 費 電 力	550/550W
出 力	330W
チャック能力	3~16mm
本 体 サ イ ズ	約 奥行650×幅350×高さ1,070(mm)
テーブルサイズ	約 295×295mm
ベースのサイズ	約 420×250mm
重 量	約 59kg
コ ー ド 長	約 1.8m

チャックからテーブル上面までの最大距離	約 355mm			
チャックからベース上面までの最大距離	約 590mm			
チャックから支柱までの距離	約 190mm			
スピンドルシャフトの上下移動	約 80mm			
回転数 (min⁻¹) 	ベルト	50Hz	60Hz	トルク
	D1	210	260	大 ↑ ↓ 小
	D2	260	330	
	C1	350	430	
	C2	450	550	
	B1	520	640	
	D3	550	670	
	A2	820	1,010	
	B3	1,270	1,550	
	C4	1,350	1,660	
	A3	1,500	1,840	
	B4	2,100	2,570	
	A4	2,500	3,050	

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

穴あけ能力

木 工	36mm	鉄 工	16mm
-----	------	-----	------

(注) 数値はベルト設定D1の時の目安です。能力はベルト設定や使用状況によって異なります。

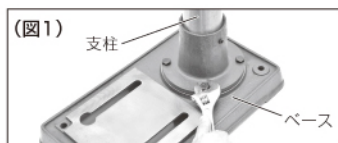
本製品について

使用前の準備

組み立て方法

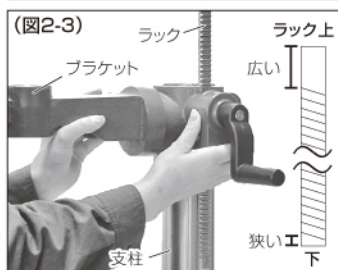
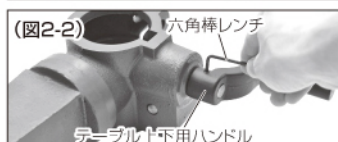
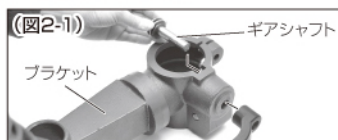
支柱とベースの組み立て

ベースの上に支柱を立て、4つの穴を合わせてください。支柱固定ボルトで4か所を締めてください。(図1)



ブラケット部の組み立て

- ①ブラケットの内側からギアシャフトを差し込んでください。(図2-1)
- ②ギアシャフトの面取り部とテーブル上下用ハンドルの穴が合うように差し込み、六角棒レンチで締めてください。(図2-2)
- ③ラックは平らな部分の広い方が上になるように持ち、ブラケット内部のギアとかみ合わせてください。そのままラックとブラケットを一緒に支柱にはめ込んでください。(図2-3)
- ④ラックの下側の先端が支柱の溝に入るようにして、ゆっくり下まで降ろしてください。上からラックカラーを差し込み、(大きく面取されている方が下向き)ラック上側の先端が溝に入るようにして六角棒レンチで締めてください。(図2-4)
- ⑤クランクボルト(大)をテーブル上下用ハンドルの反対側から入れ、締めてください。(図2-5)



※クランクボルト(大)の取り付け方向を間違えて締めると破損しますので注意してください。

テーブルの取り付け方法

テーブルをブラケットに差し込み、クランクボルト(小)で締めてください。(図3)

※強く締めすぎると破損しますので注意してください。



モーター・プリーケースの取り付け方法

モーター・プリーケースを支柱の上に差し込んでください。方向はベースに合わせ、止めネジが2カ所にありますので、六角棒レンチで締めてください。(図4)

プリーケースの組み立て

- ①センタープリーをプリーケース内の中央にはめ込んでください(図5-1)
- ②スピンドルプリー側にVベルト(小)・モータープリー側にVベルト(大)を掛けてください。(図5-2)
- ③プリーケースのツマミ止めビスをプリーケースの内側から差し込み、外側からプリーケースのツマミを取り付けてください。(図5-3)

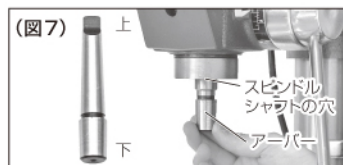
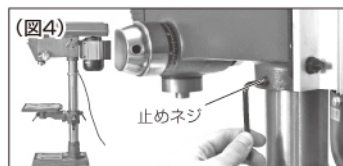
ハンドルシャフト・カバーの取り付け

ハンドルシャフトを本体の3カ所の穴にネジ込んでください。(図6)

アーバーの取り付け方法

- ①スピンドルシャフトの穴・アーバーに塗布してあるサビ止め油をよく拭き取ってください。
- ②スピンドルプリーを回転しないようにおさえます。アーバーをゆっくり回転させながら、スピンドルシャフトの穴に強く押し込んでください。(図7)

※アーバーを押したまま回転させますと固定される位置がわかります。

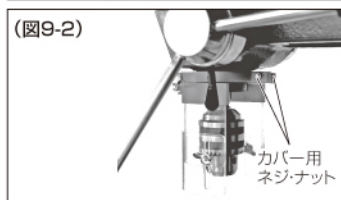
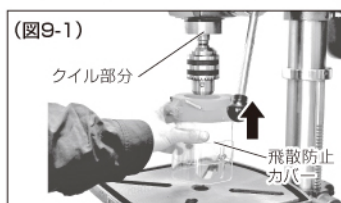
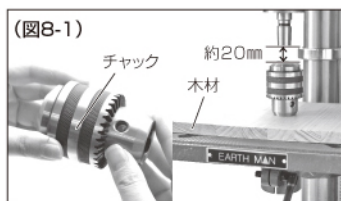


使用前の準備(続き)

チャックの取り付け方法

- ①チャックの上部の穴にサビ止め用に塗布してある油をよく拭き取ってください。
- ②チャックを全開に開いてください。テーブルの上に木材を置き、その上にチャックをのせて、アーバーとの間が20mm位になるように、テーブルを調整してください。(P14「テーブルの高さ調整」参照)(図8-1)
- ③ハンドルシャフトを回してアーバーをチャックの上部の穴に強く押し込んでください。(図8-2)

※しっかりと固定ができない場合はテーブルを下げ、木材をチャック先端に当てて、木ハンマーやゴムハンマーで2~3回強く叩き込んでください。必ずチャックの爪を引っ込めてから行ってください。



飛散防止カバーの取り付け方法

- ①飛散防止カバーをチャックの下から通し、クイル部分に取り付けてください。(図9-1)
- ②カバー用ネジとカバー用ナットで固定してください。(図9-2)

電球の取り付け・使用方法

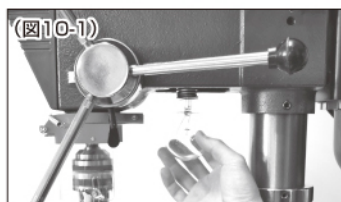


●電球取り付け前にソケット内の端子が変形していないか確認してください。奥の端子が電球口金に当たらないと点灯しません。

●電球は市販品(白熱球最大60W・E26口金)をお買い上げいただき、本体の下側のソケットに取り付けてください。(図10-1)

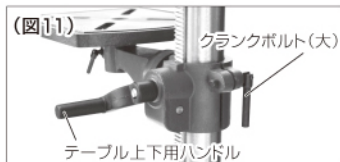
使用電球は、**白熱球 最大60Wまで**。
白熱球以外の電球は使用しないでください。

●ライトスイッチを右の○印に押すと点灯、左に押すと消灯します。(図10-2)



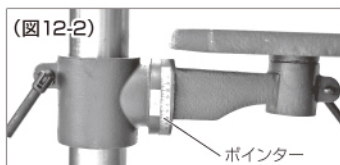
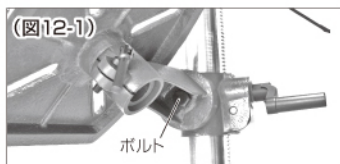
テーブルの高さ調整

テーブルの高さの調整は、クランクボルト(大)をゆるめテーブル上下用ハンドルを回して上下させてください。調整後は、クランクボルト(大)をしっかり締めてください。(図11)



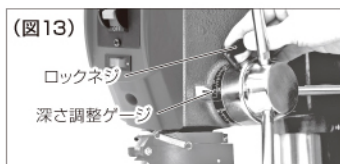
傾斜の調整

- ① テーブル裏側のボルトを付属のテーブル調節レンチでゆるめ、角度を調整してください。調整後はボルトを強く締めてください。(図12-1)
- ② テーブル傾斜角度はポインターで確認できますが、あくまで目安ですので精度を上げたいときは試し加工を行い、分度器などで測り直して調整してください。(図12-2)



深さの調整

深さ調整ゲージを希望する深さに合わせ、ロックネジをしっかり締めてください。ゲージはインチとミリの2通りの表示がしてあります。(図13) (この調整は一定の深さで穴をあけたいときに行います)



速度(回転数)調整

⚠ 注意

- ベルト移動のときは、手(指)を挟まないように注意してください。

⚠ 注

- ベルトを強く張り過ぎるとモーターが回りません。適度な張力で締めてください。

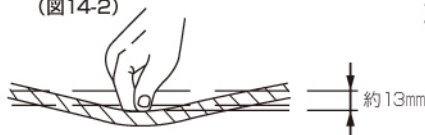
- ① 左右2カ所にあるベルトテンションロックハンドルをゆるめてください。(図14-1)
- ② 穴あけ作業に合った速度を選びベルトを移動させてください。

目安: 低速回転=高トルクのため太いドリル向

- ③ 適度な張力(約4kgの圧力、もしくは(図14-2)のように手でベルトに圧力をかけて、約13mmになる位)が得られるようにベルトテンションハンドルを(図14-3)のように回してください。調整後は、ベルトテンションロックハンドル2カ所をしっかり締めてください。



(図14-2)



使用前の準備(続き)

飛散防止カバーの調整方法

⚠ 注意

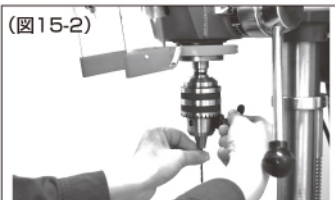
- 飛散防止カバーは、あくまでも切削クズの飛び散りを軽減するものであって、多少のクズは飛び出る恐れがあります。必ず保護メガネ・保護マスクを使用してください。

- ①カバー調整ボルトとボルト止めをゆるめ、穴あけ作業の支障にならない高さに調整してください。調整後は、カバー調整ボルト・ボルト止めをしっかりと締めてください。(図15-1)
- ②ドリル刃の交換などのときは、スイッチを一旦OFFにしてカバーを上を持ち上げてください。再び穴あけ作業をする場合は、カバーを降ろしてからスイッチをONにしてください。(図15-2)

(図15-1)



(図15-2)



スピンドルシャフトの調整

⚠ 注意

- この調整はスピンドルシャフトの動きがスムーズでない場合のみ行ってください。
- 過度の調整は製品の破損や、思わぬケガの原因となりますので注意してください。

- ①スピンドルシャフトの上下移動がスムーズでない場合は、ナット2個をゆるめ、スプリングキャップのスプリングをゆるめた状態にしてください。(図16-1)
- ※スプリングが効いているので、スプリングキャップに勢いよく戻る力が働きます。またスプリングがゆるむと、スピンドルシャフトが下がります。注意してください。
- ②スピンドルシャフトが上に上がっている状態で、スプリングキャップを左に回して凹凸を合わせながら順に移動して適当な位置で止め、ナットで締め付けてください。(図16-2)
- ※ナットを締め過ぎると動きが悪くなりますので注意してください。

(図16-1)



(図16-2)



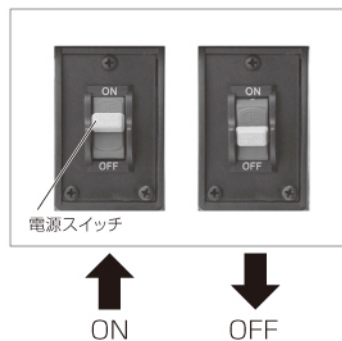
試運転

⚠ 警告

- 作業者以外は周囲に近づけないでください。
- 組み立て完了後・作業前は必ず試運転を行い、各部の点検を行ってください

- ① 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ② 電源スイッチを「ON」にして、異常なく作動することを確認してください。(図17)
- ③ 作業に問題がなければ電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。(図17)

(図17)



ロックキー

⚠ 警告

- 作業を一時中断する場合など、電源プラグをコンセントから差し込んだままボール盤より離れる場合は、必ず電源スイッチを「OFF」にしてロックキーを抜いてください。ロックキーを抜いておくことで、不意の作動を防ぐことができます。

- ① 電源スイッチが「OFF」の状態では、ロックキー(電源スイッチの黄色い部分)を抜いてください。(図18)

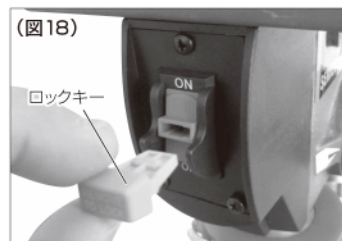
※ 電源スイッチが「ON」の状態ではロックキーを抜いてもモーターは停止しません。必ず電源スイッチが「OFF」の状態で行ってください。

※ ロックキーを抜いた状態では「OFF」にはできませんが、「ON」にはできません。

※ ロックキーをなくさないように注意してください。

- ② ロックキーを差し直せば電源を入れることができます。

(図18)



使用前の準備(続き)

ドリル刃取り付け方法

⚠ 警告

- 先端工具の取り付け・取り外しのときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 作業中・作業直後の先端工具や加工物・切りクズなどは非常に熱くなっています。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(ヤケドの原因)

⚠ 注意

- 先端工具の取り付けは、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

注

- 先端が右図のようになっているときは、チャックのツメが開ききっています。「閉」の方向に回してください。



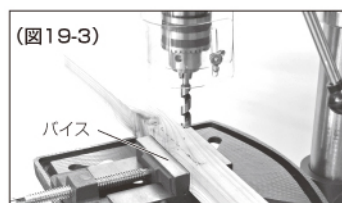
①ドリル刃をチャックに差し込みます。小さなドリル刃使用時には口部がドリル刃の軸に触るまで差し込まないでください。ドリル刃がチャックの真ん中にあることを確認して、チャックの3か所の穴をチャックハンドルでしっかり締めてください。(図19-1)



②テーブルの上に木板を置くことで、ドリル刃が突き抜けても、欠けたりキズがつくのを防ぎます。木板は支柱の左側に接触するように置いてください。(図19-2)



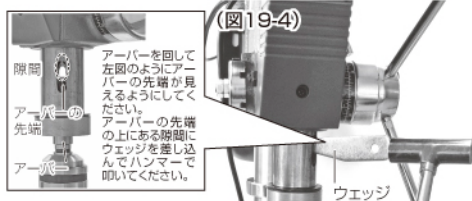
③テーブルに止められないような小さなものを加工するときは、バイスを使用してください。そのとき、バイスは必ずバイス用ボルト・ワッシャー・ナットでしっかり取り付けてください。(図19-3)



④本製品はウェッジでチャックとアーバーを取り外し、テーパシャンクドリル(MT-2・16mm)を取り付けることができます。(図19-4)

※チャック・アーバーを取り外すときは、チャック・アーバーが脱落します。チャックを傷めないように、テーブルの上に布などをのせてテーブル高さの調整をしてください。

(図19-4)

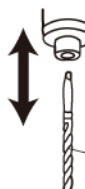


テーパシャンク
ドリル



本体

テーパシャンク
ドリル



作業上の注意



1. 作業場所・作業順序に注意してください。
2. 機械のスイッチを入れる前に、チャックハンドルや調整用工具などが取り外されていることを確認してください。
3. 作業場をきれいにしてください。散らかっている作業場や作業台は事故のもとです。作業場は常に明るくしてください。
4. 危険な環境で使用しないでください。機械は、湿気やほこりの多い所や、雨などにさらされる屋外での使用はしないでください。
5. 作業者以外を近づけないでください。特にお子様は作業場や本製品に近づけないでください。
6. 機械や付属品に設計されていないような作業はしないでください。特に、使用電球は白熱球60Wまでです。それを超える電球は使用しないでください。
7. 正しく使用してください。設計された速度で、安全に作業を行ってください。
8. 作業に適した服装（すそじまりの良い長袖・長ズボン）で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は機械に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
9. 保護メガネをつけてください。
10. 金属などに穴をあける場合は、ドリル刃がすべらないよう、あらかじめセンターポンチなどで穴をあける位置にくぼみを作ってください。
11. ドリル刃を、加工物に当てたまま、スイッチを入れないでください。必ずモーターが正規の回転数になってから作業を始めるようにしてください。モーターに負担がかかったり、ドリル刃が折れる原因となります。
12. 能力以上の無理な力で押しつけても早く穴はあきません。モーターに負担がかかったり、ドリル刃をいためる原因となります。
13. 金属などに穴をあける場合は、切削油などを使用してください。
14. 穴あけぎわにドリル刃が折れやすくなります。穴あけぎわに力をゆるめるとうまく穴あけできます。
15. 特に小さなものを扱うときは、クランプ・バイス（万力）などで完全に固定して作業してください。
16. 機械は定期的に手入れをしてください。安全な作業ができるように常にきれいに保守点検を心掛けてください。
17. 機械の手入れをするときは、必ず電源を抜いてから行ってください。特にドリル刃を交換するようなときは、必ず守ってください。
18. 電源プラグを差し込む前にスイッチが「OFF」の位置にあることを必ず確かめてください。

使い方(続き)

使用方法

※作業場所には作業者以外を近づけないでください。

①テーブルの高さを調整し、加工物とドリル刃の位置を調整してください。

※テーブルの中央の穴とドリル刃の位置を合わせておくか、適当な木材などを敷いておくことで、ドリル刃が加工物を貫通した場合でも、テーブルやドリル刃の破損を防ぐことができます。

※テーブルに木材を敷く場合は、必ず支柱に向かって左側に当たるように敷いてください。(ドリルの強い力がかかった場合に木材が暴れないようにするため。)(図20-1)

②加工物をしっかりと固定してください。

③電源スイッチを「ON」にし、モーターを始動させてください。

※モーターの回転が安定するのを確認してから加工を行ってください。

④右手でハンドルシャフトをゆっくりと回して加工を行ってください。(図20-2)

※強い力で無理に回すと、ドリル刃・加工物の破損、ケガをする恐れがありますので注意してください。

※ハンドルシャフトの根元に深度目盛が付いていますが、数値はあくまでも目安です

⑤加工が終わりましたらゆっくりとハンドルを元の位置に戻し、電源スイッチを「OFF」にしてください。



本製品にはサーモスタットが組み込まれており、モーターの温度が異常に上がるとサーモスタットが作動し、電源が自動的に切れます。サーモスタットが作動したときは、必ず電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、涼しい所で本製品を冷ましてください。下記のような原因により、サーモスタットが作動します。点検を行い、原因を取り除いたあと、再使用してください。

- 能力以上の過負荷での使用
- 連続運転によるモーターの過熱
- 適用外の延長コードの使用
- モーター故障などでの異常過熱

モーターの温度が下がると使用可能になりますが、再び作動停止した場合は、使用方法の不備、または故障が考えられます。

お手入れ

お手入れと保管

⚠ 警告

- お手入れのときは必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 故障・異常時はただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。

先端工具の点検

⚠ 注意

- 先端工具は消耗品です。作業により変形・摩耗・劣化します。定期的に点検を行い、異常が見られた場合はすぐに交換してください。
- 切れ味が悪くなったドリル刃を使用すると能率が悪く、また本体にも負担がかかりますので早めに交換してください。

各部取付ネジの点検

- 各部取付ネジなどにゆるみがないか定期的に点検してください。もし、ゆるんでいるネジがありましたらしっかりと締め直してください。

清掃・お手入れ

- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。(故障・破損の原因)
- 本体は水で洗わずに乾いた布で拭いてください。
- 回転部に切削クズやゴミなどが入らないように注意してください。入った場合は取り除いてください。
- 回転部・可動部には定期的に油を塗ってください。

保管

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した・お子様の手の届かない安全な所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。
- 使用後は本体や先端工具の汚れやほこり・切りクズなどをきれいに取り除いてから保管してください。

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

保証書

販売店名・お買い上げ年月日を証明できる物（販売証明書やレシートなど）が添付されていない場合、本書は無効となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。

品名	EM 12段変速 卓上ボール盤			お買い上げ日	年 月 日
型式	DP-700B	JAN コード	4907052 379121	保証期間	お買い上げ日より 6ヶ月
販売店	販売証明書や レシートなどを 添付してください。				

1. 本書はお買い上げ商品にのみ適用されますので、一切の工事費用などは適用外となります。
2. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障および損傷。
 - 家庭用以外（例：業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載など）に使用された場合の故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買い上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き替えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
3. 本書は付属品・消耗品には適用されません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
6. この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものではありません。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。

発売元



株式会社 高儀

製品性能・品質・取り扱いに
関するお問い合わせは…

株式会社 高儀
お客様相談窓口

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00～PM5:00（土日祭日および弊社の休日を除く）

修理（見送り含む）および別売品などの購入は、お買い上げの販売店にご依頼ください。上記相談窓口では直接対応はできません。あらかじめご了承ください。

■お客様相談窓口における個人情報の取り扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがあります。個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。